

カントリーレポート

ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー

Miss. KARLA BERENICE GONZALEZ MATÚ – メキシコ

キンタナロー女性研究所 キンタナロー大学 社会・ジェンダー暴力監視局 研究員/教官

[Kberenice7@gmail.com/](mailto:Kberenice7@gmail.com)

2. 基本情報

メキシコはアメリカ大陸に位置し、北に米国、南にベリーズ、グアテマラと国境を接し、メキシコ湾、カリブ海、太平洋に面している。政府は連邦共和国で 32 州から成る。

3. 職務

社会・ジェンダー暴力監視局の以下の事項の調整及び実施を担当している：リビエラ・マヤ社会・ジェンダー暴力監視局の設備記録、監視局運営のための諮問機関と技術的装置の適合、プロジェクト報告書作成、社会指標・ジェンダー暴力・人間開発構築のための情報整理・収集への参加、フォーラム、セミナー、ワークショップにおける発表、行政的機能、官民ステークホルダー代表の集会

4. ジェンダーに関する主な問題

ジェンダー暴力事例の収集、整理、フォローアップの制度的不備。最近、ジェンダーの視点を取り入れたイニシアチブ事業が社会的差異はあるにしろ実施されており、ジェンダー暴力の防止・被害者の保護対策が女性差別撤廃委員会(CEDAW)のレポートに基づき取られている。メキシコにおけるジェンダー暴力の事例が公開されて以降、ジェンダー暴力と闘い報告書のような事例に対処するため、より効力の大きい国家プログラムの統合に立ち戻った。その結果、SEDESOL (社会開発省)、INDESOL (国家社会開発機構)、IQM (女性庁)、INMUJERES (Instituto Nacional de las Mujeres : 国立女性研究所) 等の公的機関は、ジェンダーの視点をもつ公的政策の前進を阻む主なる障害を特定した。それは以下に述べる 2 つの目的を達成するための具体的且つ体系的に示された情報が不足しているということであった。この目的とは：1) 女性に対する暴力の事例・種類を明らかにする 2) 意思決定のツールとして利用する の 2 点である。作業開始後、ジェンダー暴力に関する情報の収集と体系化を主な機能とする研究センターの設置について、公的機関・市民社会とともに提案がされた。このプロセスでは、ジェンダー暴力の事例収集と監視手法について公的機関に対し支援が実施された。これは事例により異なる状況に対応するため再検討が必要な場合や公的機関職員のジェンダーの視点に不足がある場合に対応するためであり、この場合は研修が必要である。また、この情報収集過程においては各部門が連携・統合し、公的政策を通じてジェンダー・エクイティと女性に対する暴力撤廃推進行動を目標とする行動綱領の設置が必要であることも触れておかねばならない。

5. ジェンダー主流化における 3 つの主な障害

1. ジェンダー暴力の存在とその様々な事例を示すための制度化した定量的・定数的情報の発信と、ジェンダー暴力防止を目的としたプロジェクト及びプログラムの計画にあたっての情報の活用
2. 部門横断的視点の欠如。市内でのジェンダー暴力事例に関する定量的・定数的情報の収集・整理・活用過程における公的機関、民間・市民部門間の連携メカニズムがない。地方の状況に合う情報収集制度の再考や、情報整理・体系化のための人材研修、技術が必要とするケースもある。
3. ジェンダーの視点についての概念的枠組み：
機関で働くスタッフ間のジェンダーの視点の重要性についての概念的枠組みの提案

6. 研修で習得したこと

プログラム企画・実施及び市民団体、NGO、政府機関間の調整について習得した。キンタナロー州の農村や都市における女性のエンパワーメントに焦点を当て、それを推進するための戦略的取組みの意志決定プロセスや計画の土台としてこれらの知識を活用できる。

この目標達成のためにより有益であったのは ジェンダー主流化政策概論、教育におけるジェンダー主流化、CEDAW と日本の取組みについて、及び NWECC の教育・啓発事業である。

7. アクションプラン

1. タイトル

農村や都市における女性のエンパワーメント推進のための市民団体(AC)、非政府組織(NGO)、政府機関との調整プログラム

2. 目標

農村や都市における女性のエンパワーメント推進のための NGO・市民・政府機関の調整レベルの向上

3. 活動

- 非政府組織(NGOs)、市民団体(AC)、政府機関の長を対象としたジェンダー主流化研修プログラム。特に農村及び都市における女性のエンパワーメントプロセスの差異に焦点を当てる。
- アウトリーチ活動: ホームページ、パンフレット、チャット、成果情報、プロジェクト結果の公表
- 意志決定プロセス、フォーラム、公聴会、プログラム・戦略企画、農村・都市部女性の状況やニーズに関する報告書の作成などへの参加
- ジェンダーニーズの特定についての連絡及び調整のモニタリング・評価ツールとしてのジェンダー統計

4. 期待される成果

1. 合意形成プログラム、取組み、政策決定への参画を通じた、ジェンダーの視点を持つ地方公的政策への影響度の増大
2. 女性のエンパワーメント達成プロセスで遭遇する強みや弱点についての、様々な組織間での情報交換
3. 定量・定数的情報データベース。それにより、より良い政策提言やジェンダー統計制度策定が可能となり、また農村部・都市部に居住する女性の真のニーズを反映したプログラムやプロジェクト企画立案に活用できる。

Karla Berenice Gonzalez Matú
Social anthropologist